

## 第一回 適性検査型入試 検査Ⅰ 解答・解説

### 〔問題1〕

語法の檻の構造と機能について自覚的に考究したうえで、何を言っているのかわからない部分もあるが創造的な考えを生み出すこと。(55字)

### 解説

**文章2**の後半では、私たちにできる唯一の創造的なこととして、「斬新なことばを語っているつもりするときにすりきれた常套句を繰り返している」という『病識』を持つことと「『私たちを閉じ込めているこの檻の構造と機能』について主題的に考究すること」が述べられています。この二つのうち、「勉強」と深く関係するのは後者であるため、後者を中心にとめます。また、勉強することの意味を「語法の檻」とらわれずに創造することだと考えると、本文最後の「『何を言っているのかわからない箇所』が散見される」文章を「手柄」と述べている点も見逃せません。ここから、「既存の枠組みの中では何を言っているかわからないような創造的営みをする」とも勉強する意味につながると読み取れるので、これらをまとめて解答を作ります。

### 解答のポイント

- ① 語法の檻の構造と機能について自覚的に考究」することを述べている。
- ② 既存の枠組みにしたがうと「何を言っているのかわからない」部分がある「創造的な考えを生み出す」ことを述べている。

### 〔問題2〕

頭の良さは計算力だという考えにとらわれており、計算が得意なのに成績が上がらないのは**教育に問題があるからに違いないと考えているから。**」(40字)

### 解説

**文章1**のイの直前に「計算ができるのになんで成績が上がらないんだろう」とありますが、これが「教育が間違ってる」、つまり、教育に問題があるからに違いないと考える直接の背景になります。そして「計算が得意」ならば成績が上がるのが当然だと思うのは、**文章1**後半の「頭の良さといえば計算力か記憶力だと思ってる」からと考えられます。「渋谷くん」の頭が悪いかどうかは文章からは読み取れませんが、ここでの「頭の悪い人間」

とは大衆のことを指しており、「渋谷くん」は「中略」の後ろで「外国でも見たことないクラス」だと外国を引き合いに出してほめられたことを喜んで  
いることから、大衆的な考え方をすると読み取ることが可能です。また、文章2では「語法の檻」という考え方の枠組みにとらわれていると述べら  
れているので、これらをまとめて解答を作ります。

#### 解答のポイント

- ① 「頭の良さは計算力だと考えていること」を述べている。
- ② 「（頭の良さは計算力だという考え）にとらわれている」ことを述べている。
- ③ 「計算が得意なのに成績が上がらないの」は教育に問題があるから・・・」ことを述べている。

#### 〔問題3〕

文章1では、未来の日本の生産者がロボットにできない仕事をするため、自分の得意なことを自由に仕事にできず、理不尽なルールにしたがって仕事  
をしていることが述べられています。文章2では、人々は「語法の檻」に閉じこめられていて、自由に物事を語り、考えられない上、その不自由に気  
づいていないことが述べられています。

私は、不自由な状態が続くと、自分で物事を考えることをやめてしまい、主体的に生きることができなくなると考えます。

自由に生きるためには、不自由について考え、私たちをしばりつけているものが何か明らかにする必要があります。そのためには世界の様々なことに  
関心を持って学び、自分と結びつけて考える必要があります。知識がない、または無関心だと、不自由である事に気づきさえしないと思うからです。私  
はこれからの学校生活で、特に社会の出来事と歴史を結びつけて学び世界に巣食う不自由について考え、自分の可能性と真剣に向き合って、自由に生き  
るための方法を探したいと思います。